

岡山県立津山東高等学校 令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録〔公開用概要版〕

令和7年12月3日（水）13:00～14:30

津山東高校会議室

○出席者 委員10名（校長含む）中5名が出席

学校側出席者：教頭・事務部長・各部長・各科長 9名

○議事

- （1）学校経営計画等の中間期までの報告・評価について
- （2）各分掌の取り組みについて
- （3）地域連携を通じた教育活動の中間報告について
- （4）「働き方改革」の現状について

〔協議の概要〕

（委員）公開授業週間について、すでに後期も実施していると思うので、もう少し詳しく伺いたい。

（学校）後期も実施したが、（教員同士の授業見学）結果はあまり芳しくない。ただ、後期は保護者などに一般公開をしたので、そちらの参観者を含めるとよりよいものとなったと思う。

（委員）看護科に伺いたいが、提出物は出にくい状況にあるのか。

（学校）1年生ではなかなか100%の提出にはなりにくい。中学生の頃にも出せずにいた生徒も中にはいる。1年生は、まずは出すことを重点的に指導している。だんだんと出せるようになり、出せないのはごく一部の生徒のみとなる。2年生になるとステップアップして、内容の充実したものを提出することを目標としている。専攻科になると、何も言わなくても全員内容のあるものを提出できるようになり、学年が上がるにつれ提出率は高くなる状況である。

（委員）提出物は具体的にどんなものがあるのか。

（学校）授業のノートや課題が中心である。それだけで評価するわけではないが、評価の一部となる。

（委員）生徒が学習方法を身に付けることにより、提出率が上がっていくということか。

（学校）そのとおりである。

（委員）食物調理科も看護科も、学年を超えての異学年交流はとても良いことだと思う。具体的にどんなことをしているのか教えてもらいたい。

(学校) 食物調理科では、食物調理科棟の清掃は、1～3年生を縦割りでグループを作り、掃除をさせている。また、年に数回だが、補習期間を活用して2学年合同でグループを作り、実習を行っている。10年ほどこのような活動を行っているが、趣旨は、卒業後に就職した時、調理の世界は縦社会が多いこともあり、先輩はしっかり後輩の面倒を見る、後輩はしっかり先輩の言うことを聞く、というのが将来的な姿であるため、このような活動を行っている。実際、就職したあとに、(卒業生の)面識がない先輩が、10歳くらい下の後輩の面倒をしっかり見てくれているという実績もある。そのため、このような活動をやってきてよかったと感じる。また、合同実習を体験した生徒は、2・3年生になったときに、いつになったら1年生と実習ができるのかと楽しみにしている。

(学校) 看護科でも同じような取組をしており、4月当初、1年生に対して先輩が清掃指導をしている。また、東雲祭文化の部の展示に合わせ、高校3学年が縦割りで看護クラブとしてレポートをまとめている。その他、看護の実習で技術指導を行ったり、スポーツ交流や学習交流を行ったりしており、5学年が一堂にということはないが2学年ずつ交流をしている。教えてもらう側だけでなく、教える側にもメリットがあり、コミュニケーション力がついてきていると感じる。

(委員) とてもよくわかった。社内研修でも必要なことだと感じるので参考にさせてもらいたい。

(委員) 下校時に後川沿いの道を通っている生徒がいる。その道は速いスピードで通り抜ける車が多く、事故が起きてからでは遅い。この時期日暮れが早く、暗くなったら余計に危ないため、(後川沿いを通らず)警察署のほうに降りて下校するよう引き続き指導してもらいたい。また、宮川沿いの道路も狭い箇所があるため、並走しないよう指導してもらいたい。

(委員) 自転車の施錠率が7割程度とのことだが、低いと感じた。盗難が校内で起こることはあるのか。また、学校外では鍵をかけるのが当たり前だと思うが、そのあたりはどうなのか。

(学校) 校内で生徒同士での自転車盗難はないが、警察からは、駅や大型商業施設での自転車盗難が多いため、鍵をかける習慣を校内でもつけてほしいとの指導で、交通委員が中心になり呼びかけをおこなっている。ただ、学校内という安心感や、自転車置き場からHR棟が離れているために、朝の登校後急いで教室へ向かう生徒が、おそらく施錠し忘れているのではないかと考えられる。校外では施錠していると信じたいが、普段からの習慣づくりが大切だと感じるため、引き続き交通委員が中心となり、校内でも校外でも施錠するよう呼びかけていきたい。

(委員) 生徒募集の観点から、オープンスクールの参加者は昨年度より多いとのこと期待できそうだが、全体の中学校生徒数が減ってきているため、楽観はできないと感じる。定員を充足できるように頑張っていただきたいと思う。

(委員) 国際交流について、姉妹校との交流は元に戻すのは難しいのか。

(学校) 相手校を迎え入れする時期が、相手校の希望と本校の都合が合わないため、実施が難しくなっている。

(委員) オンラインでの交流方法もあるため、一人一台端末を活用して、交流する機会を設けていただければと思う。

(委員) 「働き方改革」については、昨年度より時間外在校等時間が減少しているので、様々な取組による効果は上がっているのではないか。

(委員) 企業も「働き方改革」は課題だが、なかなか進まないのが現状である。

(委員) 遅くまで残る人は決まってくる。業務の平準化や継続した声掛けが必要だと思う。